

令和8年2月8日執行

神奈川県第4区選挙区(横浜市栄区、鎌倉市、逗子市、三浦郡)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

「外には平和、内には福祉・社会保障」
命とくらしを守る！ リベラルの火を消さない！

中道改革連合
Centrist Reform Alliance

行動と実績の
早稲田ゆき



衆議院議員候補
早稲田ゆき

早稲田ゆき4年間の実績

2017年初当選から3期8年、国会質問120回、歴代総理と直接対決11回。質問主意書180本、議員立法は59本、三ツ星議員表彰6回。地域の声を政策に反映し、法律やしくみを実際に変えてきました。

早稲田ゆき プロフィール

1958年生まれ／百合学園 卒業／早稲田大学 法学部 卒業／旧輸銀(現国際協力銀行)、2005年～鎌倉市議会議員(2期)、2011年～神奈川県議会議員(2期)、2017年～衆議院議員(3期)、県合気道連盟特別相談役、栄区剣道連盟顧問、鎌倉市サッカー協会顧問、鎌倉市ボウリング協会顧問



武力でなく対話で平和を築く

- 憲法9条を守り、専守防衛を堅持
- 非核三原則を守り、核兵器禁止条約の批准をめざす
- 武器輸出拡大にNO！



食料品の消費税率ゼロと 社会保障の充実で命とくらしを守る

- 中小企業の徹底支援で、賃金が継続的に上がる経済へ
- 内部留保500兆円超。超大企業・富裕層に応分の負担を求め、将来世代にツケを回さない
- 現役世代の社会保険料負担は30年で1.5倍。保険料引き下げで医療・介護の自己負担増に歯止め
- 介護人材は2030年に70万人不足。全産業平均より8万円低い介護・福祉、保育現場の処遇改善を最優先
- 医療・介護・障がい福祉の経営改善、介護崩壊を防ぐ



多様性を認め合う共生社会、 ジェンダー平等、選択的夫婦別姓を実現

- 女性の賃金は男性の7割、男女の賃金格差を是正
- 旧姓使用は企業の国際競争力低下に、選択的夫婦別姓を実現
- 包括的性教育とSRHR(性と生殖に関する健康と権利)の推進
- トラウマに苦しむ性暴力被害、被害者に寄り添う支援体制を強化
- 性の多様性を尊重し、差別のない法整備へ

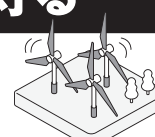
子育て・若者へ大胆投資

- 大学の研究費倍増、大学までの教育・小中学校給食を完全無償化
- 不登校の子どもは約30万人。孤立に悩む若者に寄り添う支援を推進
- 児童虐待の相談対応件数は20万件超。虐待ゼロをめざし、ひとり親支援と多様な学びを広げる



農業とエネルギー、地域の未来を守る

- 食料自給率は38%。農業者への直接支援を強化
- 原発と石炭火力から脱却し、太陽光・風水力等の再生エネルギーの地産地消



応援しています！

内閣総理大臣 高市早苗 防衛大臣 小泉進次郎 前環境大臣 浅尾慶一郎

環境・外交・安保・福祉は、新たなビジネスと教育機会の創出、国際的な信頼の獲得、障害者や高齢者が活躍できる社会づくりなど、経済と教育に密接に繋がります。

環境・外交・安保・福祉は、新たなビジネスと教育機会の創出、国際的な信頼の獲得、障害者や高齢者が活躍できる社会づくりなど、経済と教育に密接に繋がります。

賢い教育…選択肢を活かす力

教育は、知識やスキルの習得だけでなく、自己決定能力や批判的思考を養い、個人の可能性を最大限に引き出し、賢い選択を可能にします。

規制緩和と投資促進
労働市場の流動化
金融教育の強化

強い経済…選択肢を支える基盤

経済的豊かさがなければ、子育て、教育、医療、環境保全の財源が不足し、個人の自由が制約されます。強い経済は、選択肢を拡大する土台です。

永田まりながめざす幸福(Well-being)は、「選択肢が無限に広がる社会」です。幸せとは物質的な豊かさや幸福度調査の数値で測れるものではなく、個人が自由に人生をデザインし、選択できる状態にあります。一方で選択肢があるだけでは不十分で、それを賢く選び、実行できる経済的余裕と知性が必要です。そのための社会基盤として、「強い経済」「賢い教育」「環境・外交・安保・福祉」にコミットしてまいります。

「選択肢が無限に広がる社会へ」

永田まりな マニフェスト

日本は変われるのか。変わらないのか。私たちはいま、その分岐点にいます。未来を憂いているだけでは、未来は変わりません。人生100年時代。30・50代が新たなキャリアや生活を自由に選び、高齢者が活躍し、若者が希望を持てる「選択肢が広がる社会」へ。いっしょに日本の未来を切り開いていきましょう。

変えるのは、
私たち。



自民党 公認
永田まりな

永田まりな プロフィール

Marina Nagata 1983年2月生まれ。AB型。

【学歴】聖路加幼稚園～鎌倉市立七里が浜小学校～私立北鎌倉女子学園中学校～神奈川県立鎌倉高等学校(アメリカンフットボール部マネージャー)～フェリス学院大学卒業

【職歴】フリーアナウンサーとして活動後、2013年 鎌倉市議選(無所属)に初当選し、2期勤める。2019年 神奈川県議選(自由民主党)に初当選し、現在2期目。2023年 神奈川県議選2期目当選(2026年1月辞職)

県議会議員時代の主な実績●フリースクール等に通う子どもへの通学支援充実●若年層の支援拠点「HATSU鎌倉」を開設●妊娠から出産・子育てまでの伴走型相談支援を充実●小児医療費助成の対象年齢を12歳まで引き上げ●県道134号七里が浜交差点の信号タイミングを改良し、住宅街側の渋滞緩和●県立高校等のスクールカウンセラー配置拡充●「妊娠SOSかながわ」事業の稼働日・稼働時間を拡大など

公式サイト、SNSは↓



I am
JAPAN

ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

- 1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
- 2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。
- 3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

- 4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。
- 5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
- 6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

- 7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子どもの一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。
- 8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正當に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
- 9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は **参政党** とお書きください。

参政党の政策は ▶
こちらの特設サイトから！



田宮 れいいちろう プロフィール 平成2年生まれ三浦郡葉山町出身。清泉小卒、横浜中学高等学校卒、新潟医療福祉大卒。現在は地域の医療機関で看護管理職に従事。増税や物価高の影響で企業努力での経営改善に限界を感じた為、「減税と積極財政」を掲げる「参政党」から立候補。



参政党公認
れい
田宮
たみや



投票日
令和8年

2/8 (日)

【投票時間】
午前7時から
午後8時まで

衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

仕事や旅行などで投票日に投票に行けない方は
「期日前投票制度」をご利用ください。

投票日に投票所に行くことができない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。
なお、投票所入場券がお手元に届く前でも、選挙人名簿に登録されていることが確認できれば、投票することができます。
また、18歳から投票することができます。18歳未満のお子様も一緒に投票所に入場することができますので、ご家族で投票所にお出かけください。

- ◎ 衆議院小選挙区選出議員選挙
投票用紙（あさぎ色）には、候補者1人の氏名を記入します。
- ◎ 衆議院比例代表選出議員選挙
投票用紙（ピンク色）には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。
- ◎ 最高裁判所裁判官国民審査
投票用紙（うぐいす色）には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。
やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。

【身体に重度の障害のある方や要介護5の方（郵便等投票）】

右の表に掲げる一定要件にあてはまる方は事前に「郵便等投票証明書」の交付を受けた上で、自宅等で投票することができます（この方法は、郵便等による送付が必要です）。

制度の詳細については市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

身体障害者手帳に記載してある障害の程度	障害名	障害の程度
	両下肢、体幹、移動機能の障害	1級・2級
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害	1級・3級
戦傷病者手帳に記載してある障害の程度	免疫、肝臓の障害	1級・2級・3級
	障害名	障害の程度
	両下肢、体幹の障害	特別項症～第2項症
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障害	特別項症～第3項症

介護保険の被保険者証	要介護の状態区分
	要介護5

衆議院議員総選挙
特設ホームページ
はこちら

